

第2回奈良市ボランティアインフォメーションセンター運営推進懇話会 会議の概要		
開催日時	平成29年2月21日（火）午前10時～正午まで	
開催場所	奈良市ボランティアインフォメーションセンター	
議 題	1 開会 ・市民活動部長あいさつ 2 案件 （1）奈良市ボランティアインフォメーションセンターについて ①平成28年度利用状況について ②平成28年度実施状況について （2）奈良市ボランティアインフォメーションセンターアンケート結果について （3）平成29年度奈良市ボランティアインフォメーションセンター事業計画について 3 閉会	
出席者	委員	秋葉武氏、井上芳恵氏、藤野正弘氏【計3名出席】
	事務局	澤野井市民活動部長、松田市民活動部次長、森協働推進課主幹、今井協働推進課長補佐、高岡協働推進課係長、桧山ボランティアコーディネーター、末武ボランティアコーディネーター、事務局（協働推進課）
開催形態	公開（傍聴人0人、報道関係者0人）	
担当課	市民活動部協働推進課	
議事の内容		
1 開会 澤野井市民活動部長より挨拶があった。		
2 案件 （1）奈良市ボランティアインフォメーションセンターについて ①平成28年度利用状況について事務局から説明を行った。 主な意見は以下の通り。 ・センターを定着して利用する人は増えているが、初めて相談する方や、団体がよりステップアップするための相談は十分に伸びていないと感じる。このセンターのあり方というものも検討しつつ、単にボランティアに参加したいという方への支援だけではなく、新しい組織を作って活動することに繋がるような支援などが必要ではないか。		
②平成28年度実施事業について事務局から説明を行った。 主な意見は以下の通り。 ・このセンターが市民の公益活動に資するセンターだとすれば、様々なボランテ		

ィアがあってもいいが、もう少し一段上のことを目指すのが将来的にいいかと思う。HUG 2祭りのアンケート等をヒントにし、これらの悩みに答えれば非常に良いセンターになるかと思う。

- ・折り紙講座が次年度から独立することについて、このような活動を生み出したということはセンターの役割としては非常に良いと感じた。この団体のようにステップアップする可能性がある団体にターゲットを絞って何か企画を考えると良いのではないか。
- ・講座によって参加者数にはっきりと差が出ている。次年度は講座そのものを見直すか広報の仕方を変える必要があるのでは。

(2) 奈良市ボランティアインフォメーションセンターアンケート結果について

利用者アンケート（個人・登録団体）結果について事務局から説明を行った。

主な意見は以下の通り。

- ・今後、もっとボランティアを増やしてボランティア活動を充実させていくのか、市民公益活動の推進のためにもう一段上を目指していくのかを明確にしなければならぬ。とりあえず来年はどちらの方向でいくのかを示せば、それに伴う講座の企画も出てくると思う。
- ・ホームページでの情報発信が充分にできていない。ブログや SNS を活用するなど、何かしら工夫が必要であると思う。
- ・会計講座については参加者が少なく、次年度開催する予定はないとの事だが、この講座は様々なセンターでも定番で、安定的な参加者がいる講座である。打ち方を工夫するなどして継続的に続けていけばいいのではないか。
- ・会計講座について、近くの施設で類似の講座を実施しているということなども回答に記述した方がよい。
- ・アンケートは団体更新時に実施する方がよいと思う。
- ・アンケート結果から何を読み取るかを意識した設問内容にした方がよいと思う。他の団体と繋がりたい、相談件数が少ないのが課題であるのならそこをもう少しハイライトできるようなアンケート内容にしてもらえればより素晴らしい内容になると思う。数字を取るだけでなくアンケートから何を読み取りどう活かすか工夫をしてほしい。
- ・どのような条件であれば参加できるのかについてもアンケートを実施する機会等に調査し、興味がある講座を受講できる体制を組めればよいと思う。
- ・発信者側は十分に情報を発信しているつもりでも、受け取り手に興味がなければ知ることは無いというのはよくあることである。もともと興味を持っていない方にも上手に伝えていく方法を検討していく必要があるのではないかと感じた。
- ・一般の方の中にもメーリングリストのようなツールを使って市民活動やセンターの情報を手に入れたいという方がいらっしゃるのであれば、一般の方向けにもそのような手段を取られることも検討してもいいのではないかと思う。

(3) 平成29年度奈良市ボランティアインフォメーションセンター事業計画について事務局から説明を行った。

主な意見は以下の通り。

- ・団体訪問の中身を教えてほしい。
- ・コミュニケーション力向上講座のような、センターとして毛色の違う講座を設けられたとして、その講座を受けられた方をどのようにセンターの事業に関連させていくのかという戦略やビジョンがあるとより良い。
- ・長くセンターのサポートに関わっておられる方が一定以上いるので、その方達が自主的に活動していくようにサポートしていければ良いと思う。
- ・ボランティア・市民活動は社会課題を解決するというスタンスとしてある。しかし、事業内容や報告を聞いていると、このセンターではそこに対するアプローチがあまりないと感じる。今はできなくともいずれやるのか。方向性を決めていかなければ間違った方向に行ってしまうのではないか。個人的にはもっと社会課題に目を向けて行ってほしい。センターの本質的な目的は、NPOの方々に社会課題を解決して社会をよくするために動いていただくことにある。その意識を職員 みなさんに持っていただきたい。理想論かもしれないがそこだけはお願いしたい。
- ・行政の他部署が実施している事業に地域の方を繋いでいくということも必要であると思う。

3 閉 会

以上